

CONTENTS

COMBAT

2017.Jul.
No.496

7

Cover Design
Favorite Graphics Inc.
Cover Photo
ESS Official
©WORLD PHOTO PRESS 2017



【第1特集/SIG】

010 特集 SIG 威風堂々

010 “戦闘銃”としてのハンドガン

●Photos & Text by TOMO HASEGAWA

024 SIG P228 POLICE OFF DUTY

●Photos & Text by Hiro Soga

030 日本のSIG

●写真・解説：菊池雅之

034 本音で語る「SIGのここが好き・嫌い」

036 コンペティション・シューターから見るSIG

SIG P320 X5 vs P226

●Photos&Text by Muneki Samejima

【第2特集/アイウェア】

042 MilSpec Eyewear Catalog

アイウェア型録

044 Oakleyファクトリー訪問

048 ESS、ここがスゴイ！

052 日米アイウェア事情

054 EYEWEAR CATALOG WILEY X / bolle SAFETY / Smith Optics Elite / SPY+

【第3特集/トイガン】

066 WESTERN ARMS

KIMBER WARRIOR JOHN WICK MODEL

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

071 WESTERN ARMS

COLT COMMANDER GARCIA VINTAG EDITION & OFFICER'S ACP

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

096 トイガンニュース

096 東京マルイ ガスブローバック M4A1 カービン

098 東京マルイ 電動ショットガン SGR-12

099 東京マルイ ガスブローバック P226 E2ステンレスシルバー

100 東京マルイ エアコッキング バイソン

101 東京マルイ 純正アクセサリ

102 マルゼン ワルサーP99

103 タナカ コルト・バイソン スネーク・アイズ《2.5インチ“Rモデル”》

104 タナカ U.S.M9アームド・フォース《エボリューションHP》

004 COMBAT FRONT LINE

058 ニッポンの力こぶ

062 海賊対処の最前線 前編

076 NEW GENERATION STYLER

●fujiwara

086 The Equipments of the U.S. Force

【現用米軍装備カタログ】

PARACLETE 空軍支給

TAN & COYOTE BROWN 特集 Part.3

●解説：松原隆 ●撮影：山崎 学

106 サバゲ三等兵

●織本知之

110 突撃!!ぴっちょりーな☆

112 編集部お薦めのタクティカルギア大図鑑

Tasmanian Tiger

TT TAC MODULAR PACK 30 VENT

●織本知之

114 WANCHER'S STYLE

116 ミリいじ技研

117 Militaria Roundup!

アメリカ空軍フライトジャケット Part.1

128 PRESENT

146 DJちゅうの妄想雑記ノート

147 ミリタリーと音楽

Combat Magazine meets マリアンヌ東雲 from キノコホテル

154 US SHOOTING LIFE 特別篇

156 兵装嗜癖 ●by fujiwara

196 Goods & Accessory

200 中田商店グッズ

202 S&Grafグッズ

129 GAME OVER THE TOP

132 TK APS大阪公式記録会参戦記

134 サバゲ三等兵APS部!

136 読んで覚える TakuのHOW TO Shooting 射撃のススメ

138 アラフォース!

140 トイガンズ・ジャンクション

173 葉隠マッチ M-6

174 ビクトリーショー

176 編集長日誌

177 バックナンバーリスト

178 ミリタリー・コレクション

180 レア・ミリタリー・コレクション

182 A STITCH IN TIME

183 ブラックホール

184 狩野健一郎のシネマ放浪記

185 狩野健一郎の新作DVD紹介

186 蛙のゆびさき

188 戦車兵通信 WORLD OF TANKS

190 コンバットマガジン・インフォメーション・センター

191 読者プレゼント応募方法

192 編集後記

※本文中の価格は消費税込みの
総額表示です。



SIG 威風堂々

精密機械のような緻密さを持つ、
スイスが生んだ拳銃

今年のショットショーで突如発表された米軍の次期制式採用拳銃トライアルの結果。
大多数の予想を覆し、SIGのP320が選定された。今までも特殊部隊などで限定的に採用されてはいたSIG。
それがいよいよ米全軍の将兵に支給される事となったのだ。そんなSIGとは、どんな拳銃なのだろうか!!



MHSプログラム

『米陸軍新制式採用拳銃が“SIG”に決定!』
今年1月、アメリカ最大の武器見本市「ショットショー」の開催中に発表されたビッグニュースだった。読者の皆さんにとっても記憶に新しい事だろう。

米軍の厳しい仕様要求を 満たす新たなSIG “戦闘銃”としてのハンドガン

スイスの名門“SIG”社。P320が「M17」としてUSアーミー制式採用拳銃に決定!
アメリカ新制式採用拳銃トライアル“MHSプログラム”から、
“戦闘拳銃”としてのニーズの変化と新たな理想像が浮き彫りになる!

●Photos & Text: TOMO HASEGAWA



M17

USアーミーの新制式採用拳銃“M17”。SIG P320をベースに改良が加えられたアメリカ軍の新型戦闘拳銃だ。デザート系の色味など、昨年から新たに加味された要素が反映され、フルサイズモデル(右)とコンパクトモデル(左)の2タイプを採用。フルサイズ28万挺、コンパクト拳銃7,000挺の初回調達を2017年に実施される予定だという。アーミー以外の米軍機関でも順次21万2,000挺の調達予定されているそうだ。



フレーム後端にマニュアルセフティがある。昨年トライアル中に加味された要望により備えられたもの。操作し易く邪魔になりにくいサイズ。スライdstoppやマガジンキャッチも含め、左右から操作可能。これもトライアル当初から要望に盛り込まれていた条件。利き手だけでなく、右手を撃たれたら左手で戦闘する時に必要だからだ。

●ダットサイトなどの照準器が無加工で使用可能

といった条件が挙げられていた。トライアルの企画そのものは2008年頃からあり、実銃メーカー各社にそれぞれ打診されていたようだ。

“戦闘拳銃”としてのニーズの変化

今回のM17の採用で興味深いのは、軍用銃として拳銃のニーズの変化だ。

その昔、拳銃は士官用だった。士官は部隊を率いる者で、戦闘は兵士がするものとするコンセプトが色濃かったようで、役割が明確に分かれていた。時代とともにこのニーズが変化した。

戦場では破壊力と射程に優るライフルの方が強い。しかし、威力に勝るライフルでも作動不良や故障などトラブルが発生すれば無力だ。反撃できなければ、兵士の生存の可能性が極端に低くなる。戦闘状態にあってガントラブルに遭遇し対処しては、兵士として仮死状態。そんな時はベルトに備えた拳銃で素速く反撃。眼前の敵を排除し、安全を確保してから、ライフルの作動不良を調べ、戦闘続行可能か? を判断するのがあるべき手段。拳銃は「バックアップウェポンとして必要不可欠なもの」なのだ。

弾丸を発射できる小型武器から、戦場での予備の武器として、先の世界大戦、朝鮮戦争、ヴェトナム戦争……各地の紛争を含め幾多の経験から、米軍の拳銃に対するニーズが変化。そして前米陸軍制式採用拳銃“M9”ではついに、兵士全員に拳銃を持たせるに至った。M9の前の制式採用銃、1911A1と比べてみ

三つ巴の戦いを制し、制式採用の座を射止めたSIGとは



インナーフレームにトリガーとシアーなど、作動メカを集約。分厚い鋼鉄で造られていて、作動性と耐久性はもちろん、さらに低価格を実現できたという。



スライドユニットと作動メカユニットを、1本のピンで分解組み立てを司る。これで作動性能と命中精度を高いレベルで保持できるという。



フレーム先端下部にピカティニーレールを装備。状況に合わせてライトやレーザーモジュールなどが取り付けられる。肉厚も充分で頑強な造りがSIGらしい。

グロックをはじめ、多くのモデルと同じストライカー方式。このタイプには独特に粘りがある撃ちにくいものだが、M17 (SIG P320) はスムーズでキレイの良いトリガーを実現しているのはさすがSIG。

これまで米陸軍で30年使用されてきたベレッタM9。これに代わる最新拳銃を選ぶため、USアーミーでは2015年1月からトライアルが行なわれていた。このトライアルには“MHSプログラム”という呼称がつけられていた。“MHS”とは「モジュラー・ハンドガン・システム」の略称。グリップサイズが変更可能な事や、ライトやレーザーサイトが装備できるなど、兵隊の体格や置かれた状況に合わせ、各種セットアップを変化できる拳銃である事が求められていた。さらに……、

- 樹脂フレーム仕様
- ユニット交換可能なメカニズム
- ファイアリングピンセーフティ搭載
- サプレッサー対応

SIG P228 POLICE OFF DUTY

根強い人気があるSIGピストル。

現在はバックアップ・ピストルとしてSIG P228を使うポリスオフィサーに、LE(ロウエンフォースメント)とSIGに関して語ってもらった。

●Photos & Text:Hiro Soga



ベテラン・ポリスオフィサーのエディー。ポリスオフィサーになる前は、USミタリーのインヴェスティゲーター(捜査官)で、これと同じP228/M11を支給されていた。

デューティガン

昨年、ネイビーシールズがサイドアームとして長年使用してきたSIG P226/Mk25を、グロックG19に変更するというニュースが流れた。「シールズよ、お前もか!」というSIGファンの声が聞こえたのは私だけではないだろう。

昨今、ミタリーだけでなくLEの現場でも、制式デューティガンがSIGピストルから他ブランドへ変更されたという話を聞く機会が増えてきた。このあたりを実際に経験したオフィサーに聞いてみた。

「そうだね。去年まで我々のPD(ポリスデパートメント)ではSIG P229.40S&W口径が制式デューティガンだった。結構長い間P229を使っていたね。そろそろ老朽化が進み、新しい制式銃の採用が検討され始めたのは、確か一昨年の事だったと思うな。私もインストラクターの一員だから、新制式銃の選定会議には参加したし、メーカー各社からのアプローチも実際に目にしたよ。候補は結構あったな、

SIG社はもちろんのこと、S&W社、グロック社、CZ社、ベレッタ社とかだったな。ここで、我々が決めなければならないポイントはいくつもあった。

現行のP229はダブル/シングルアクションだが、これから新たにトレーニングを受けるオフィサーの事を考え、訓練をシンプルにできるストライカー方式のガンも候補に入れるべきか。

口径は.40S&Wに問題は全くないが、その後デューティ・アンモの開発も進んでいる状況がある。マガジンの装弾数も考慮に入れる時期に来ている。



1.丸くなったトリガーガードのせいか、エレガントな雰囲気をもっている。2.バンケーキホルスターに収められたP228。通常はオフデューティガンなので、アベンデックスホルスターに収めている。



SIGが本気で作った競技用モデルとなるSIG P320 X5。箱から出してイキナリ競技に投入できるクオリティを誇る。

SIG

P320 X5

P226

●Photos & Text: Mumeki Samejima

今年のショットショーでの話題と言えば、米軍が次期制式拳銃計画・XM17 MHS (Modular Handgun System) に、SIG P320を採用すると発表した事だ。総額は最大で\$580,000,000 (660億円前後) 規模のものになると言う。その発表の翌日からのショットショーのSIGブースでは、いつ行っても人だかりの山。採用された銃の撮影をするのにも一苦労だった。XM17 MHSでは、9社12種類がトライアルにかけられた。最終的には、グロックとSIGの一騎打ちとなり、SIG P320がトライアルに勝利した。しかし、ショーの時に聞いた噂では、結果に納得のいかないグロックが、入札のやり直しを求めて裁判を起こす

なぜかイタリア製のマガジン。装弾数は21発だ。



コンペティション・シューター から見るSIG

とか……。正直、僕も過去の実績や信頼性を考えれば、グロックが勝つのではないかと考えていた。

SIG P320は、SIGが2014年に発表した全く新しいモデルだ。現代銃では定番となったポリマー樹脂のフレームにスチール製のスライドを組み合わせている。近年の流行りで、色々とオプション装備を取り付けるためのピカティニーレールも付いている。モジュラー構造が大きな特徴となっており、グリップのサイズがラージ、ミディアム、スモールと3種類あり、フレームやスライドなどはフルサイズ、キャリア、コンパクト、サブコンパクトと4種類用意される。スライドには直付けで小型ダットサイトが装着できるなど、近未来的な要素を備えていると言える。米軍に納品される事になったのもこの辺りの汎用性の広さが要因なのかもしれない。

コンペティションでのSIG P320

2014年にP320が発表されてから、SIGのスポンサーを受けるトップシューター、マックス・ミッシェルは、USPSAとスチールチャレンジのプロダクションと呼ばれる部門でP320を導入した。プロダクション部門とは、ダットサイト、コンペセイターなどを装着し



SIG P320 X5、5インチバレルを装備したフルサイズ・モデルだ。口径は9×19mm。



OAKLEY USA
ESS
WILEY X
BOLLÉ
SMITH OPTICS
SPY+

Starring With

EYEWEAR CATALOGUE

C ☆ M レ コ メ ン !

アイウェア型録

日差しも強くなってきた季節、日々の生活でも必然的に手にしたくなるのが、サングラス。もちろん、サバゲだって、楽しみたい! となるとアイウェアは不可欠なアイテムだ。タウンユースからサバゲをはじめとするハードユースまで。C☆M読者だったら、どうしたって、しっかりしたモデルを身に付けたいもの。そこで、ミリタリー採用実績のあるブランドを中心に、C☆Mが厳選したアイウェアを一挙に紹介! エビデンスとバックストーリーまでも身にまわって、この夏を乗り切れ!

OAKLEY

USA



ファクトリー訪問

～シューティング・グラスと
コンペティティブ・シューター～

USスティールチャレンジで4位という成績を叩き出した
コンペティティブ・シューター、鮫島宗貴。愛用するアイ
ウェアはオークリー。択という彼が、カリフォルニア州
ロサンゼルス郊外にある本社を訪問、シューターの視点
でのおすすめポイントも含め、ビッグブランドの紹介をする。

●Photos & Text: 鮫島宗貴

シューターとOakley

「我々の製品は、使用者の目を守ることを第一に考えています。またSIシリーズに関しては、使用する皆様の命が懸かるケースがある事を理解した上で、製品開発に取り組んでいます。スポーツシーンにおいては、各分野で重要な光が何かを解析し、各アスリートに話を聞き、各スポーツ場面において物を認識する為に必要な光を調整したレンズ、プリズム・シリーズを開発しました。各分野で最適なコントラスト、視認性を実現したプリズム・レンズは、今のOakley (オ

ークリー)の一押し製品です」
本社の担当者の言葉を持ち出すまでもなく、Oakleyのアイウェアの信頼性の高さはミリタリー&法執行機関からスポーツの分野に至るまで、知れ渡っている。もちろん、コンペティティブ・シューターである僕にとっても最も信頼の置けるアイウェアである。

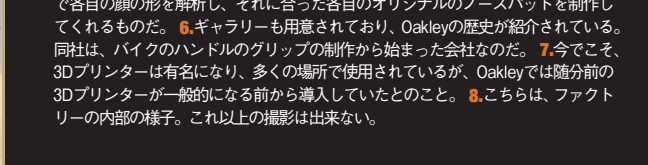
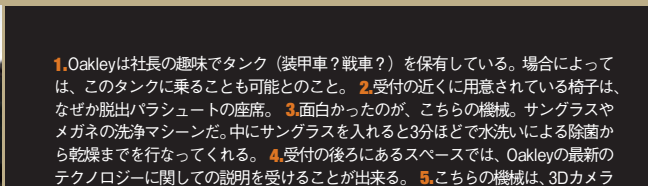
シューターにとって、シューティング・グラスは使用する銃と並んで重要なツール。僕がコンペティション・シューティングを始めてもう15年になる

が、Oakleyに出会うまで、シューティング・グラス選びには苦労してきた。
10代前半だった僕が入手した最初のシューティング・グラスは700円の安物だった。目を保護するという最低限の仕事はこなしてくれたが、長時間、競技で使っていると頭痛を引き起こした。質の悪いレンズを通して見る世界は歪みが入っている。その歪みを修正することで当然、脳に負担がかかる。さらにツルで頭を締め付けて固定するようになっていることも頭痛につながる。その後も遍歴を重ねた僕の結論は「自分の顔に合うシューティング・グラス

を見つけるのは、簡単ではない」ということだ。
海外製のモデルは、鼻の低いアジア人の僕には合わないが多かった。ある有名なブランドのシューティング・グラスに至っては、トレーニング中にツルの部分が折れてしまった。
困り果てて信頼出来る当時の指導者に「どのブランドが良いのか？」と聞くと「Oakley以外にチョイスはないよ！」と即答された。
言われるまでもなく、Oakleyの人気と信頼性は、当時の僕だって良く分かっていた。学生の身には高価で高嶺の

花だったが、清水の舞台から飛び降りるほどの決意で、Oakley RADARと言う当時の最新モデルを購入した。
アスリート用に設計されたそのモデルは「アジアン・フィット」と呼ばれるアジア人用のノーズパットとツルのサイズが用意されており、僕の顔に完璧にフィットした。何より1日中かけても頭痛もせず、快適に過ごせた。Oakleyのレンズ・クオリティの高さとデザイン性が如何に優れているかを認識した。このモデル、10年たった今も、消耗品であるノーズパットやイヤースockを交換しながら使い続けている。アリゾ

ナに来てから6年間、毎日のようにレンジで使っても壊れることのない耐久性はOakleyだけだと僕は思っている。そう考えれば、Oakleyは、最もコストパフォーマンスの高いシューティング・グラスだろう。
◆
今回Oakley本社を訪問して感じたことは、徹底的な品質管理と、性能の向上への飽くなき挑戦。ファクトリーなど取材内容を公開しきれない部分がありもどかしいが(笑)、写真で本社の実像の一端をご紹介したい。



1. Oakleyは社長の趣味でタンク(装甲車?戦車?)を保有している。場合によっては、このタンクに乗ることも可能とのこと。2. 受付の近くに用意されている椅子は、なぜか脱出パラシュートの座席。3. 面白かったのが、こちらの機械。サングラスやメガネの洗浄マシンだ。中にサングラスを入れると3分ほどで水洗いによる除菌から乾燥までを行ってくれる。4. 受付の後ろにあるスペースでは、Oakleyの最新のテクノロジーに関する説明を受けることができる。5. こちらの機械は、3Dカメラで各自の顔の形を解析し、それに合った各自のオリジナルのノーズパッドを制作してくれるものだ。6. ギャラリーも用意されており、Oakleyの歴史が紹介されている。同社は、バイクのハンドルのグリップの制作から始まった会社なのだ。7. 今こそ、3Dプリンターは有名になり、多くの場所で使用されているが、Oakleyでは随分前の3Dプリンターが一般的になる前から導入していたとのこと。8. こちらは、ファクトリーの内部の様子。これ以上の撮影は出来ない。

KIMBER WARRIOR JOHN WICK MODEL



キンバー・ウォリアー
《ジョン・ウィック・モデル》

- 全長:220mm
- 銃身長:114mm
- 重量:約995g
- 装弾数:21+1発
- 価格4万1,040円
- 絶賛発売中!!

この夏公開予定のスーパー・ガンアクション・ムービーをイメージした、タクティカル系.45オート

近代的なコンパクト・テクニックをふんだんに採り入れ、2015年に日本公開されたアクション・ムービー『ジョン・ウィック』。主演と製作総指揮を務めたキアヌ・リーブスが、H&KのP30L、グロックのバリエーションなど多彩な銃器を手に、スピーディで華麗なガンアクションを展開し、銃器ファンを魅了して空前のヒットを記録した。引退した凄腕のヒットマンが、愛犬のためにマフィアを一掃するというストーリーも、世界的なペット・ブームの中で共感を呼んだようだ。

そんなスーパー・アクション・ムービーが、この夏さらにパワー・アップ、『ジョン・ウィック:チャプター2』となって帰ってくる。さらに第3弾の製作が予定され、脚本も進んでいるとのこと。『ハート・ブルー』(1991年)で、アクション・スターの仲間入りを果たしたキアヌ・リーブスにとって、『ジョン・ウィック』シリーズは、文句なく代表作の一つになったと言える。

このシリーズを製作するにあたり、元イスラエル対テロ特殊部隊工作員という

経歴で知られるガン・インストラクター、アーロン・コーエンから近代戦闘テクニックを学んだキアヌは、前作同様のハンドガンに加え、キンバー・ウォリアー、S&W M1911SC/Eなど、パワフルな.45オートを使用する。これら新登場のセミオートにいち早く反応したのが、ウエスタン アームズ (以下:WA)。CBHWモデルやデザート・モデルで、.45ファンの人気を集めるマグナムモデル、キンバー・シリーズの“ウォリアー”をベースに、スクリーンのイメージそのままの“ジョン・ウィック・モデル”を新たに製作した。

キンバーのタクティカル.45、ウォリアーは、米海兵隊特殊部隊「デルタ1」が採用した「マーサックICQB」の進



ハウジングは握りやすいストレート・タイプ。グリップは、G10製キンバー・タクティカル・グリップを再現している。ボトムをストレートにカットしたグリップ・パネルがシャープな印象だ。

GACK HPC (Hard Plate Carrier) 装着例

2007~2008年頃から空軍特殊部隊に納品が開始されたGACK (Gurdian Angel Carriage Kit)。今回特集しているタンカラー&コヨーテ・ブラウン (2004~2005年納品)よりも後期になるのでポーチ類のデザインも新しくなっている。LBT-6094A (タンカラー)も当時採用されていた事から、GACKをロンドン・ブリッジ・トレーディング製と思い込んでいたのが懐かしい。GACKはParaclete社が経営不振になってくる2010年辺りまで納品が続いたようだ。今回紹介するGACKは使用済み欠品キットなのでまだまだ紹介していないアイテムがあると思われる。



Paraclete製 General Purpose (GP) & Medicalポーチ

General Purposeとは「一般用途」との意味で、個人で携帯する小物用ポーチとなる。'90年半ばからは500mmmlの点滴液袋の携帯義務になっている。弾薬や個人用スマートフォンにコンパス等使用用途は幅広い。



The Equipments of the U.S. Force

●解説: 松原 隆
●撮影: 山崎 学
●協力ショップ: LAZY CAT (<http://lazycat.jp/>)
TRI'S (旧特小工房) (<http://tri-ss.com/>)
Gamis (<http://www2.ocn.ne.jp/~gamis/>)
トイソルジャー (<http://www.toysoldier.com.hk/>)
SPARTAN AIRSOFT TACTICAL
(<https://www.facebook.com/SPARTAN-AIRSOFT-TACTICAL-124800650941702/>)

[現用米軍装備カタログ] 第153回

PARACLETE 空軍支給 COYOTE BROWN特集

TAN & Part.3

